

広島県立西条農業高等学校卒業 堀田雄仁さん(花の正花園)



堀田雄仁さんの紹介

令和2年度に広島県立西条農業高等学校を卒業後、滋賀県湖南市にあるタキイ研究農場付属園芸専門学校に進学しました。

園芸本科で1年間、品種の研究開発や栽培を実際に体験するなど、園芸に関する最先端の技術を学びました。

卒業後は、家業の「花の正花園」に就職しました。

○堀田雄仁さんの就農までの道

農業高校
(西条農業高等学校)

タキイ研究農場
付属園芸専門学校

就農
(花の正花園)

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？

西条農業高校の園芸科では野菜や草花を種子から苗に育てあげ、それを販売する実習があると聞いていました。家業が野菜や花の苗の生産・販売を行っていたこともあり、進学を決意しました。

高校や大学校で学んだことは？

高校では、学校設定科目「SS課題研究Ⅰ・Ⅱ」で主に野菜を専攻し、栽培の基礎をはじめ、「耕地土壌から単離したリン溶解菌の特性解明」についての研究活動も行いました。専門学校では、充実した研究施設において、実践的な農業技術や技法を学びました。特に、光、温度、湿度、CO₂濃度、灌漑水のEC値などを監視し、必要に応じて自動調整する環境制御システムのあるハウス内において、イチゴやトマト、パプリカなど、様々な野菜類を栽培する経験が今の仕事に生かされています。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

「苗半作」という言葉通り、苗の出来不出来により、病気の罹りにくさや生長の度合いが顕著に表れます。良い苗を作れば、たくさんの人々から「花の正花園の苗は良い苗だね。」と声が広がり、より一層、良い苗を作ろうという思いを強くします。日々、試行錯誤しながら苗づくりを頑張っています。



就農先の紹介

約20棟のハウスで、1年中、野菜と花の苗生産を行っています。お客様に喜んでもらえるものを提供できるよう、日々丹精を込めた苗づくりを心掛けています。冬季には、ハウス一面にパンジーやピオラが並びます。3月は白ネギを、4月に入ると家庭菜園で使われるものや農家用のもの、マリーゴールドをはじめとする花苗を生産しています。野菜苗は広島県内の農家や近隣の園芸店へ、花苗は近隣だけでなく全国の園芸店に納めています。